

鈴鹿亀山地区

第2号被保険者調査 調査票

● 調査ご協力をお願い ●

日頃は、介護保険事業の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、鈴鹿亀山地区広域連合では、令和6年度から実施する「第9期介護保険事業計画」の策定作業を進めております。

この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料とさせていただくものです。アンケートの集計結果などにつきましては、すべてコンピュータで統計的に処理し、みなさんにご迷惑をおかけすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせいただきたく存じます。

なお、この調査は第2号被保険者（40～64歳の介護保険の被保険者）のうち55歳以上で介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方を対象としており、1,000人を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年12月

鈴鹿亀山地区広域連合

<ご記入にあたっての注意事項>

1. この調査は、**できる限り対象者ご本人（封筒のあて名の方）**がお答えください。なお、対象の方が何らかの事情により回答できない場合で、どなたも代筆できない場合などには、そのまま返送してください。
2. この調査は、**令和4年11月15日を基準日**として、対象の方を選ばせていただいております。**基準日現在の状況**について、あてはまる**番号に○**をつけてください。また、〔 〕内にはその内容を具体的にお書きください。できるだけ**黒のボールペンか鉛筆**でお願いします。答えにくい質問には答えていただかなくてもかまいません。
3. 1つだけ答えていただく質問と、複数お答えいただく質問とがありますので、質問をよく読んでお答えください。また、お答えの内容によっては、次に答えていただく質問が変わるものがあります。質問の指示にしたがってください。
4. 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、**同封の返信用封筒に入れて、1月16日(月)までに**郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。
5. このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。

鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険課 管理グループ 電話 059-369-3204

※鈴鹿亀山地区広域連合は、鈴鹿市と亀山市によって構成される特別地方公共団体（行政機関）です。介護保険に関する事業を行うほか、消費生活に関する相談業務などを行っております。詳しくは、ホームページ <https://www.suzukakameyama-kouiki.jp/> をご覧ください。

1 ご本人のことについてお伺いします

問1 あなた（封筒のあて名の方。以下同じです。）の性別はどちらですか。（1つを選択）

1. 男性

2. 女性

問2 令和4年11月15日現在のあなたの年齢をお答えください。（1つを選択）

1. 55～59歳

2. 60～64歳

問3 あなたのお住まいの地区は、次のどちらですか。わからない場合は町名を書いてください。（1つを選択）

鈴鹿市

鈴鹿第1・・・ 1. 加佐登 2. 石薬師 3. 久間田 4. 椿

5. 深伊沢

6. 鈴峰

7. 庄内

鈴鹿第2・・・ 8. 国府 9. 庄野 10. 牧田 11. 井田川

鈴鹿第3・・・ 12. 河曲 13. 一ノ宮 14. 神戸

鈴鹿第4・・・ 15. 長太 16. 箕田 17. 若松

鈴鹿第5・・・ 18. 玉桜

鈴鹿第6・・・ 19. 稻生 20. 飯野

鈴鹿第7・・・ 21. 白子 22. 鼓ヶ浦 23. 愛宕 24. 旭が丘

鈴鹿第8・・・ 25. 栄 26. 郡山 27. 天名 28. 合川

亀山市

亀山第1・・・ 29. 井田川北 30. 井田川南 31. 川崎 32. 野登

33. 東部

34. 南部

35. 昼生

亀山第2・・・ 36. 白川 37. 神辺 38. 野村 39. 城東

40. 城西

41. 城北

42. 御幸

43. 本町

44. 北東

45. 天神・和賀

46. 関宿

47. 関北部

48. 関南部

49. 坂下

50. 加太

※地区名がわからない場合は、
市名と町名をお書きください。



市

問4 あなたは、現在、どんな仕事をされていますか。（1つを選択）

1. 勤めに出ている

5. シルバー人材センターの仕事をしている

2. 自営業をしている

6. 求職中

3. 農業をしている

7. 仕事はしていない

4. 自宅で内職をしている

8. その他〔〕

問5 あなたの世帯には65歳以上の方がお住まいですか。（1つを選択）

1. 65歳以上の方がいる

2. 65歳以上の方はいない

問6 現在、あなたのご家族の中に介護が必要な方はいらっしゃいますか。（1つを選択）

1. いない

2. いる

2 介護に関する考え方についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問7 介護保険について知りたい情報がありますか。(複数選択可)

- 1. サービスの種類や内容
- 2. サービスの利用料について
- 3. サービスの利用手続きについて
- 4. サービス事業所について
- 5. 保険料について
- 6. その他〔
- 7. 特にない

問8 あなたは、ご家族が介護が必要な状態になった場合(現在介護をしている場合も含む)、どのようにしたいですか。(1つを選択)

- 1. なるべく家族のみで、自宅で介護をしたい
- 2. 介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい
- 3. 施設へ入所・入居させたい
- 4. その他〔
- 5. わからない

} 問9へ
進む

} 問9へ
進む

問8で「3」と回答した方にお伺いします。

問8-② どのような条件が整えば、自宅で生活続けることができますか。
(複数選択可)

- 1. 在宅で十分な量の介護サービスを受けられる
- 2. 夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制
- 3. 在宅でも専門的な介護サービスを受けられる
- 4. 在宅で十分な医療を受けられる
- 5. 介護しやすいような住宅への改修
- 6. 一人歩き等の見守りなど、地域の支援
- 7. 介護している方への支援
- 8. 家事、外出など生活面の手助け
- 9. その他〔

3 健康についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問9 ご自分の健康状態についてどう思われますか。(1つを選択)

- 1. とてもよい
- 2. まあよい
- 3. あまりよくない
- 4. よくない

問10 あなたは、1年ほど前に比べて身体の衰えを感じますか。(1つを選択)

- 1. 非常に感じる
- 2. やや感じる
- 3. あまり感じない
- 4. まったく感じない

問11 あなたは、自分の健康や生きがいのために、どんなことをしたいと思いますか。
(2つまで選択可)

- 1. 少しでも長く働きたい
- 2. 家事をこなしたい
- 3. 気の合う仲間同士での趣味の活動をしたい
- 4. ボランティア活動や地域活動に参加したい
- 5. スポーツやレクリエーションの活動をしたい
- 6. その他〔
- 7. 特にない

問12 あなたには、「かかりつけ医（主治医）」または、いつもかかっている医療機関がありますか。(1つを選択)

- 1. はい
- 2. いいえ

※「かかりつけ医」とは、健康を管理するために、普段から心身の状態について気軽に相談できる身近な医師のことです。

問 13 日頃、健康や介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）のためにどんなことを心がけていますか。（複数選択可）

- 1. 毎日の食事や栄養に気をつけている
- 2. 睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている
- 3. 適度に運動をしている
- 4. 酒やタバコをなるべくひかえるようにしている
- 5. 定期的に健康診断を受けている
- 6. その他〔
- 7. 特に心がけていない

問 14
へ進む

問 13 で「7」と回答した方にお伺いします。

問 13—② 健康づくりや介護予防を心がけていない理由は何ですか。（複数選択可）

- 1. 時間がないから
- 2. 経済的な理由から
- 3. 必要性を感じないから
- 4. 取り組み方がわからないから
- 5. 取り組む場所がわからないから
- 6. きっかけがないから
- 7. 一人では取り組みづらいから
- 8. めんどうだから
- 9. 関心がないから
- 10. その他〔

再びすべての方にお伺いします。

問 14 健康づくりや介護予防のために、地域でどのような活動があれば参加したいですか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 食事や栄養に関するもの | 6. 認知症予防に関するもの |
| 2. 運動に関するもの | 7. 歯や口腔衛生に関するもの |
| 3. 同世代がふれあえる交流の場 | 8. その他〔 |
| 4. 子どもなど他世代との交流の場 | 9. 特にない |
| 5. ボランティア活動 | |

4 将来の介護や在宅医療についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 15 あなたは、今後、自身の身体の状態が悪くなり、介護が必要となったとき、自宅で最期まで療養したいと思いますか。（1つを選択）

- 1. したい
- 2. したいが難しいと思う
- 3. したくない
- 4. わからない

問 16 自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択可）

- 1. かかりつけ医による定期的な訪問診療
- 2. 訪問看護（看護師の訪問）の 24 時間対応等の充実
- 3. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の 24 時間対応等の充実
- 4. 24 時間対応してくれる相談体制
- 5. 介護者への支援
- 6. 症状が急に悪くなったときの入院先の確保
- 7. 居住環境の整備
- 8. 経済的な支援
- 9. その他〔 〕
- 10. わからない

問 17 あなたは、人生の終末期のことについて話している人がいますか。（複数選択可）

- 1. 家族・親族
- 2. 医師
- 3. 弁護士や司法書士
- 4. その他〔 〕
- 5. そのような人はいない

問 18 近年、人生を総括し、最期を迎えるに当たって様々な準備を行うことを意味する「終活」が注目されています。あなたは、何か「終活」として取り組んでいることはありますか。（複数選択可）

- 1. 「エンディングノート」の作成
- 2. 遺言書の作成
- 3. 財産の整理や相続の準備
- 4. 葬儀やお墓の準備
- 5. 身の回りのものの整理や処分
- 6. その他〔 〕
- 7. 特にない

※「エンディングノート」とは、自身の終末期や死後に、家族が様々な判断や手続きを進める際に必要となる情報を書き残すもので、書店等でも販売されています。

5 認知症についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 19 将来、ご自身やご家族が認知症になることに対して、不安がありますか。

(1つを選択)

- 1. おおいに不安がある
- 2. やや不安がある
- 3. あまり不安はない
- 4. 不安はない

問 20 認知症は、単なる物忘れとは異なり、アルツハイマー病や脳血管障害などの病気が主な原因となって引き起こされるため、予防したり、進行を遅らせたりすることができると言われています。あなたは認知症についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

- 1. よく知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. 知らない

問 21 「認知症サポーター」(認知症に関する学習会を受講し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者)についてご存知ですか。(1つを選択)

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはある
- 3. 知らない

問 22 「認知症サポーター」の養成講座を受けてみたいと思いますか。(1つを選択)

- 1. すでに受けた
- 2. 受けてみたいと思う
- 3. 受けてみたいと思わない

問 23 認知症の高齢者が自宅で安心して生活するためには、介護保険サービスだけではなく地域住民の協力(見守りなど)は必要だと思いますか。(1つを選択)

- 1. 家族の支えや介護サービスを補うために必要だと思う
- 2. 必要だと思うが、プライバシーの問題もあり難しいと思う
- 3. 必要だとは思わない
- 4. その他〔〕
- 5. わからない

6 地域のたすけあいについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 24 職業生活から引退（定年とは限りません）する年齢についてどのように考えていますか。（1つを選択）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 60 歳未満 | 5. 75～79 歳 |
| 2. 60～64 歳 | 6. 80 歳以上 |
| 3. 65～69 歳 | 7. 健康な限りは何歳まででも働きたい |
| 4. 70～74 歳 | 8. その他〔 |

問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 是非参加したい | → 問 26 へ進む |
| 2. 参加してもよい | → 問 26 へ進む |
| 3. 参加したくない | |
| 4. すでに参加している | → 問 26 へ進む |

問 25 で「3」と回答した方にお伺いします。

問 25-② どうすれば参加したいと思いますか。（1つを選択）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する |
| 2. インターネット上の参加など、多様な参加方法を用意する |
| 3. 加入するとやめられないなど、閉鎖的な雰囲気なくす |
| 4. 活動内容を魅力あるものにする |
| 5. 成果や貢献が具体的にみえる活動をする |
| 6. 活動内容や役割を選べるようにする |
| 7. いろいろな住民組織が連携して、一緒に活動をする |
| 8. 参加した人が、何らかのメリットを得られるようにする |
| 9. その他〔 |

再びすべての方にお伺いします。

問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

- | |
|--------------|
| 1. 是非参加したい |
| 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない |
| 4. すでに参加している |

問 27 以下のような会・グループ等に参加していますか。また参加したいですか。

※①～⑧それぞれに 1 つを選択

	1 参加している	2 していないが 参加したいが	3 参加したくない
①ボランティアのグループ	1	2	3
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3
③趣味関係のグループ	1	2	3
④学習・教養サークル	1	2	3
⑤健康づくりや介護予防のための通いの場	1	2	3
⑥老人クラブ	1	2	3
⑦町内会・自治会（※まちづくり協議会、地域づくり協議会を含む）	1	2	3
⑧収入のある仕事	1	2	3

問 28 ご近所で、高齢者や障がい者のみの世帯など、困っている世帯があったら、あなたはどんな対応をしますか。（1 つを選択）

1. 進んでお手伝いしたい
 2. 頼まれればお手伝いしたい
 3. お手伝いをしたいと思うが、お節介と思われたくないのでためらってしまう
 4. お手伝いをしたいと思うが、自分のことで精一杯でできない
 5. 福祉サービスを利用すればよく、特に自分が手伝う必要はない
 6. その他〔 〕
 7. わからない
- 問 29 へ
進む

問 28 で「1」「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問 28-② 具体的にどのような手助けができると思いますか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 調理 | 8. 相談相手になること |
| 2. 掃除・洗濯 | 9. 災害時の避難の手助け |
| 3. 買い物（宅配は含まない） | 10. 防犯・防災のための巡回 |
| 4. ゴミ出し | 11. 住居内での困りごと支援 |
| 5. 外出同行（通院、買い物など） | （家具移動や蛍光灯の取替など） |
| 6. 見守り・声かけ | 12. その他〔 〕 |
| 7. 話し相手になること | |

再びすべての方にお伺いします。

問 29 あなたは、どのような条件が整えば、地域で困っている方のお手伝いをすることができると思えますか。(複数選択可)

1. 特に条件なく活動できる
2. 活動したことがポイントとなり、自分が支援を必要とするときにそのポイントを使うことができる制度などがあればできる
3. 適当な報酬が得られればできる
4. 一緒に活動する仲間がいればできる
5. 自分が得意なことを生かせるのであればできる
6. その他〔 〕

問 30 今、住んでいる地域(地区、自治会など)が高齢者にとって暮らしやすい地域にするためには、あなたはどんなことが重要だと思いますか。(3つまで選択可)

1. 子ども世代との交流を促進する
2. 老人クラブなど、高齢者同士の交流を促進する
3. 近所同士のつきあいを深める
4. ふれあいサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す
5. 地域の人びとによる日頃の見守りを充実する
6. 民生委員・児童委員等の見守り、相談・支援活動を充実する
7. ボランティアなどを育成して、見守り、生活支援の活動をしてもらう
8. 高齢者の移動手段を、NPOなどの力を借りて確保する
9. 災害など、緊急時の支え合い体制を充実する
10. その他〔 〕
11. 特にない

問 31 あなたは、地域における支え合い活動などが進むよう支援する専門職である生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)のことをご存知ですか。(1つを選択)

1. 活動内容まで知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問 32 あなたは、災害時要援護者支援活動を知っていますか。(1つを選択)

1. 知っている
2. 知らない

※「災害時要援護者支援活動」とは、災害時の避難や避難所生活で、さまざまな困難が予想される高齢者や障がい者を登録し、その人の情報を民生委員・児童委員などに提供することによって、住民同士の助け合いや支援活動を行いやすくする活動です。

問 33 あなたは、災害時要援護者支援活動において、「支援を必要とする人」の支援者になってもよいと思えますか。(1つを選択)

1. 思う
2. 思わない
3. どちらともいえない

問 34 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|---------|
| 1. 徒歩 | 6. 電車 |
| 2. 自転車 | 7. 路線バス |
| 3. バイク | 8. タクシー |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 9. その他〔 |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 〕 |

問 35 あなたが公共交通に望むことは何ですか。(複数選択可)

- | |
|------------------|
| 1. 現状に満足している |
| 2. 自宅の近くを通ること |
| 3. 外出目的地の近くを通ること |
| 4. 運賃が安いこと |
| 5. 遅れないこと |
| 6. 運転本数が増えること |
| 7. その他〔 |
| 〕 |

7 介護や保健福祉に関する相談についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 36 あなたは、介護や保健福祉サービスについて相談したいとき、まずどこに相談しますか。(1つを選択)

- | |
|--|
| 1. 家族・親族 |
| 2. 友人・知人・近所の人 |
| 3. 地域包括支援センター |
| 4. ケアマネジャー (居宅介護支援事業所) |
| 5. 介護サービス事業者 |
| 6. 市役所【鈴鹿市保健センター、あいあい (亀山市総合保健福祉センター) を含む】 |
| 7. 鈴鹿亀山地区広域連合 |
| 8. 主治医 (かかりつけ医) |
| 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. その他〔 |
| 11. 相談するところがない |
| 〕 |

問 37 鈴鹿亀山地区には、介護サービスなどに関する身近な相談の場として、鈴鹿市内に 8 か所、亀山市内に 2 か所の「地域包括支援センター」があります。地域包括支援センターをご存知ですか。(1つを選択)

- | |
|--|
| 1. 自分の居住する地区を担当するセンターを知っている |
| 2. 地域包括支援センターのことは知っているが、自分の居住する地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない |
| 3. 地域包括支援センターのことは知らない |

問 38 地域包括支援センターは、令和 3 年 4 月から箇所数が増え、担当区域が狭くなり、きめ細やかな対応が可能になりました。このことはご存知でしたか。(1つを選択)

- 1. 知っていた
- 2. 知らなかった

問 39 あなたは、高齢者だけでなく、障がい、子育て、生活困窮などさまざまな相談に対応する窓口についてどのように思いますか。(1つを選択)

- 1. さまざまな相談に対応できる窓口があったほうが良い
- 2. 高齢者に特化した窓口があったほうが良い
- 3. その他〔 〕
- 4. わからない

問 40 「8050 問題」や「ヤングケアラー」などが社会問題となっています。あなたは、こうした複合化した課題を持つ家庭等を身近にご存知ですか。(1つを選択)

- 1. 知っている
- 2. 知らない



アンケートはこれで終了です。
ご意見があれば下の記述欄にお書きください。

※「8050 問題」とは、80 歳代の親と 50 歳代の子どもなど、高齢の親が同居する子どもの生活を支えていることによる経済的困窮や人間関係の孤立などの複合的課題を抱える問題のことを言います。また、「ヤングケアラー」とは、家庭内の介護や家事を日常的に担わなければならない状況に陥っている子どものことを言います。

問 40 で「1」と回答した方にお伺いします。

問 40-② そのような家庭等はどのような支援を求めていると思いますか。
(複数選択可)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 経済的な支援 | 6. 専門職との継続的な関わり |
| 2. 日常生活の支援 | 7. 何を求めてよいかわからずにいる |
| 3. 就労先の確保 | 8. その他 |
| 4. 地域における居場所 | 〔 〕 |
| 5. 地域の人との継続的な関わり | 9. わからない |

【ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください】

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れてご返送ください。